

問 総務課 広報・広聴係  
☎ 22-0555

シリーズ1  
仕事と家庭との  
両立支援について

# 福智町

## 組み立てよう

### 男女共同参画社会



#### 改正育児・介護休業法が全面施行されました

### パパもママも協力して子育てをしながら働き続けるために!!

男女ともに、仕事と家庭の両立ができる働き方の実現を目指し、平成21年に、育児・介護休業法が改正されました。平成24年7月1日からは、これまで適用が猶予されていた「従業員数100人以下の事業主」にも適用されるようになりましたので、主な改正点を紹介します。

#### 改正1 子育て期間中の働き方の見直し

- ① 短時間勤務制度の義務化 (3歳までの子を養育する労働者)
- ② 所定外労働の免除の義務化 (3歳までの子を養育する労働者)
- ③ 子の看護休暇の拡充 (小学校就学前の子を養育する労働者)

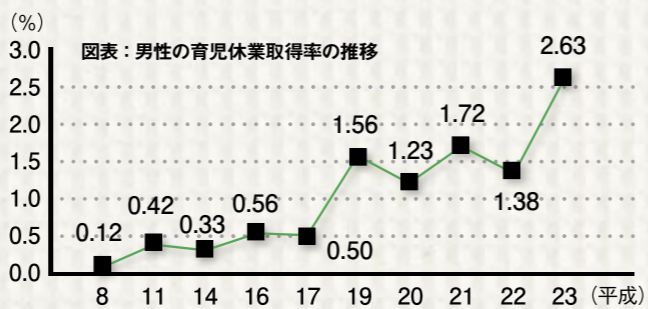
#### 改正2 仕事と介護の両立支援

- ① 介護の為に短期の休暇制度の創設
  - ▶ 要介護状態にある家族の介護のための短期の介護休暇制度

今回の改正により、父母ともに、より子育てをしながら働きやすい環境が整い、ワークライフバランスの実現につながることが期待されています。対象とならない従業員もいますので、詳細は問い合わせください。問 福岡県労働局雇用均等室 ☎ 092-411-4894

#### 改正3 父親も子育てができる働き方の実現

- ① 父母ともに育児休業を取得する場合の休業可能期間の延長
  - ▶ 父母がともに育児休業を取得する場合、育児休業取得可能期間を、子が1歳から1歳2か月に達するまでに延長。
- ② 出産後8週間以内の父親の育児休業取得の促進
  - ▶ 出産後8週間以内に父親が育児休業を取得した場合、特例として育児休業の再度の取得を認める。
- ③ 労使協定による専業主婦(夫)除外規定の廃止
  - ▶ 配偶者が育児休業中や専業主婦(夫)であっても育児休業を取得できる。



↑資料(平成23年度雇用均等基本調査)では、平成22年度から23年度にかけて飛躍的に数値が伸びていることが伺えます。これは、改正育児・介護休業法の主要部分が施行された同時期であり、法改正の効果が現れたものと考えられます。

#### 福智の風

▶雪が積もっているかも…そう思いながら寝ぼけまなこをこすり、カメラを片手に起きた、元旦の朝7時。現在の職業柄か、近くにカメラがあると、ついきれいな風景や笑顔、良いシチュエーションを求めるように…。「初日の出を、雪が彩る風景は絶対かっこいい」と思って撮った一枚(裏表紙)。我ながらよく撮れていると自負しています。(久原)

▶新成人が生まれた平成4年は、毛利衛さんが日本人で初めて宇宙空間に出発した年。搭乗したスペースシャトルの名は「Endeavour」、日本語で「努力」という意味だそう。失われた20年といわれる時代に生を受けたみなさんが、この機体のように夢に向かって「努力」を重ね、輝かしい未来を切り拓いてくれることを期待する。(相原)

#### 写真が語る 福智の雪化粧



雪化粧した福智山  
提供者●曾根辻 清二さん  
撮影日●昭和30年代後半

年間平均気温が約2度も低かった当時は、平地でも年に何度か数十センチの積雪を記録することもしばしば。その度に、雪合戦などで遊ぶ子どもたちの笑顔があふれていました。

昔の写真を探しています!  
問 総務課広報・広聴係  
☎ 22-0555

はな・落の憂句会  
池田一步選

明けてきし冬日に合掌園暮し  
冬至風呂樂しむ米寿恙なく  
宝くじ買はず焼餅屋へ並ぶ  
人込みの熱気となりし初詣  
バスの中転がる蜜柑初笑  
七種を打てば野の香のありにけり  
類齢の心引き締め初句会  
日溜まりにさらさら揺れて雪解水  
和やかな暮しの中のシクラメン  
寒風に堪へて咲きあがる野水仙

永末 公恵  
日高八重子  
松本 三男  
山本ひろし  
香月 眸  
高津 澄子  
熊谷カツミ  
本島真知子  
桑野 園女  
井上タミ子

福智町金田公民館俳句教室  
岩井鬼童選

落葉して樹相あらはに大銀杏  
くさめしてだあれも暮るない暮しかな  
時雨ると鴉の声のまた濁る  
バーゲンのは女の修羅場師走かな  
凍星の光が刺さる夜道かな  
着ぶかれてまだ頼らるる老の知恵  
風強し溶岩に枯草しがみつき  
氣忙しく冬の到来何かせな  
延命水汲む霊域の冬紅葉  
焼芋の黄金の甘さ頬張れり

長副美恵子  
仲谷ひろえ  
松岡 蒿枝  
西田 真美  
山本 空木  
小川 雪  
今井三千代  
加藤きみ子  
小野 美幸  
建部三由紀

方城句会  
池田一步選

さみどりの仄かな香り七種粥  
妣連れて野の七種を簞に取る  
寒空に一人で逝きし兄の事  
幾度も追伸を読む賀状かな  
書初は返信礼状ころこめ  
宵戒心残して京あとに  
初空やふるさとの山うつくしき  
襟足に雪解雫や寺詣  
福寿草手描き葉書のあたたかし

尾崎 和子  
木村 誠一  
倉石嘉代子  
白石 凡子  
杉 フジエ  
長尾 冴子  
長末 耕一  
藤井耿之介  
渡邊 一枝

# 四季の歌

## 心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

南天の紅き実ついでむ鳥の影凍てつく庭はしばしなごめり  
賜わりし葩餅と一服の抹茶の淡きみどりのしむ  
在りし日に舅の使いし国語辞典とおしみつ吾もつかいし  
沈下橋薄くつもれる粉雪の溶けて流るる川面に降りつつ  
澄み渡る空に山なみ輝きぬかの日登りし峰も晴ればれ  
冬の森赤きナンテン陽を浴びて新年待つやきらめきにつつ  
尖閣の海と空より侵されむ平和憲法はいかなるものぞ  
皺多くなりたる掌の甲いくたびも擦りて強く弓を握れり

村上 美幸  
三村 和子  
福田キヨ子  
越智 早苗  
桑野 昭子  
白石 清和  
前田 信子  
福田 晶